


就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アウルの杜	事業所番号	110900172
住 所	札幌市清田区真栄 4 条 1 丁目 2-1 大地の館 1F	管理者名	佐藤 由美
電話番号	011-802-6365	対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>作業場所：北海道大学工学部内。 作業内容：清掃作業を行っています。廊下や階段等のフロアの清掃やトイレ清掃業務を行う。8：00～13：30 実働 4 時間</p>	<p><活動の様子></p>  <p>北海道大学工学部内にある共用部の廊下や階段の掃除、各棟のトイレ清掃業務を行っています。</p>
<p><目的></p> <p>清掃作業の経験を積み、協調性や責任をもった作業が出来るように施設外就労を通して経験を積み自信に繋げる。</p>	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・清掃における手順や判断力を身に付ける事ができた。・個々任された清掃箇所を責任をもって時間内に終わらせることができるようになっていく。・暑い中、長距離を移動し作業する体力を身につけられている。	

連携先の企業等の意見または評価

お任せした作業箇所の清掃を責任をもって職員さん含め、清掃をして頂き感謝しております。学校側からの指摘や 破損箇所などの報告や対応も安心してお任せしています。

連携先企業名	東京綜合株式会社	担当者名	三輪
--------	----------	------	----

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アウルの杜	事業所番号	110900172
住 所	札幌市清田区真栄 4 条 1 丁目 2-1 大地の館 1F	管理者名	佐藤 由美
電話番号	011-802-6365	対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>作業場所は市内の樋門管のある河川敷。札幌市内を流れる河川にある樋門管点検作業や整備の補助作業を行う。</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>一般就労に向けた体力や継続する忍耐力を付ける。氾濫などがないように常に問題がないかの点検をしており、札幌市民を災害からも守るという責任感も身に着ける為。</p>	
<p><成果></p> <p>責任感をもって作業をする事が出来ている。</p> <p>夏場は暑く、秋は寒さもあるが体力も身につくことが出来ている。</p> <p>肉体的な労働ではあるので、作業に関わる人に限りがある。</p>	<p>石狩川を含む河川にある樋門管点検作業業務の補助を行っています。4～11月にかけて2週置きに作業しています。</p>


連携先の企業等の意見または評価

<p>平成25年度の開所時から、責任もって樋門管点検の作業補助に従事してくれておりとても助かっています。職業指導員の職員にも作業を一通り覚えてもらい安心して任せる事が出来ています。利用者さんの経験にも繋がれば嬉しく思っています。</p>			
連携先企業名	株式会社TENGU	担当者名	前田 英光

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アウルの杜	事業所番号	110900172
住 所	札幌市清田区真栄 4 条 1 丁目 2-1 大地の館 1F	管理者名	佐藤 由美
電話番号	011-802-6365	対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>作業内容は、ユニットごとに回収した洗濯物を汚れに応じて業務用洗濯機や家庭用洗濯機に分けて洗います。タオル類は乾燥機で乾かした後、たたんで各ユニットに戻します。業務に携わっている利用者さんからは、丁寧な仕事に心がけているとのことでした。引率している職員は、入居者の洗濯物を間違えず返却するように声かけしています。特別養護老人ホームの洗濯業務の仕事を紹介され、介護と関わりある作業を通じて“福祉”同士が手を取り合う形が築けて良かったです。</p>	<p><活動の様子></p>  <p>作業内容は、ユニットごとに回収した洗濯物を汚れに応じて業務用洗濯機や家庭用洗濯機に分けて洗います。タオル類は乾燥機で乾かした後、たたんで各ユニットに戻します。</p>
<p><目的></p> <p>介護福祉×障がい福祉が協働し合い、より良い福祉になるように入居者さまから預かっている私物のタオル類や職員の制服などの洗濯業務を通して就労に向けて協調性や社会性を身に付ける。</p>	
<p><成果></p> <p>介護士さんの仕事量の軽減を行う事が出来た。</p> <p>仕事を任されている以上、責任感を持って作業する為、</p> <p>介護士さんの入替も頻繁で、施設側の職員さんの引継ぎがうまく行かずに、不安になる点は課題。</p>	


連携先の企業等の意見または評価

<p>特別養護老人ホーム開設に当たり、元タディサービスの清掃やあるくっちゃん（カフェの運営）をお願いしていた繋がりから、障がいのある方も可能な限り業務に携わってもらい施設運営を共に進めたいと考えておりました。現場の声と実際作業するアウルの杜のみなさんとの細かな時間帯の調整や作業内容の打合せを重ねて形にして作業をしてもらいました。コロナ禍という事もあり、消毒作業や感染防止の装具を付けての暑い中の作業等もして頂きました。入居者さんや介護士さんとのトラブルもなく作業をお願い出来ています。</p>			
連携先企業名	社会福祉法人 栄和会（特老 厚別南 5 丁目）	担当者名	

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アウルの杜	事業所番号	110900172
住 所	札幌市清田区真栄 4 条 1 丁目 2-1 大地の館 1F	管理者名	佐藤 由美
電話番号	011-802-6365	対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>作業内容は、ユニットごとに回収した洗濯物を汚れに応じて業務用洗濯機や家庭用洗濯機に分けて洗います。タオル類は乾燥機で乾かした後、たたんで各ユニットに戻します。業務に携わっている利用者さんからは、丁寧な仕事に心がけているとのことでした。引率している職員は、入居者の洗濯物を間違えず返却するように声かけしています。特別養護老人ホームの洗濯業務の仕事を紹介され、介護と関わりある作業を通じて“福祉”同士が手を取り合う形が築けて良かったです。</p>	<p><活動の様子></p>  <p>作業内容は、ユニットごとに回収した洗濯物を汚れに応じて業務用洗濯機や家庭用洗濯機に分けて洗います。タオル類は乾燥機で乾かした後、たたんで各ユニットに戻します。</p>
<p><目的></p> <p>介護福祉×障がい福祉が協働し合い、より良い福祉になるように入居者さまから預かっている私物のタオル類や職員の制服などの洗濯業務を通して就労に向けて協調性や社会性を身につける。</p>	
<p><成果></p> <p>介護士さんの仕事量の軽減を行う事が出来た。</p> <p>仕事を任されている以上、責任感を持って作業する為、</p> <p>介護士さんの入替も頻繁で、施設側の職員さんの引継ぎがうまく行かずに、不安になる点は課題。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>特別養護老人ホーム開設に当たり、障がいのある方も可能な限り業務に携わってもらい、施設運営を共に進めたいと考えておりました。当初は、障がい者雇用率の達成のこともあり、直接雇用を予定しておりましたが新設でもあり、障がいのある方が継続して働けるよう導くことのできる知識や技能を持った職員がおりませんでした。このため札幌市に相談したところ、元気ジョブさんを紹介され、『オアシス』さんに依頼させて頂くことになりました。現在、お願いしている業務は主に洗濯です。1階には、業務用の洗濯機と乾燥機を各1台ずつ設置しています。月曜日～土曜日の間は、各ユニットから集められた利用者様の洗濯物を洗濯、乾燥、タオル類の折り畳みを行い各ユニットへ運んでいます。利用者様や職員からは「朝持っていくと昼には出来上がり多い時は2回目も行ってくれる」と好評を得ております。まだ入所者が50名なので働いて頂く時間が短いことが課題となっています。</p>			
連携先企業名	社会福祉法人 ふれ愛事業協会	担当者名	岡崎

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アワルの杜	事業所番号	110900172
住 所	札幌市清田区真栄 4 条 1 丁目 2-1 大地の館 1 F	管理者名	佐藤 由美
電話番号	011-802-6365	対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>春・秋季高校野球大会にて各校から回収した 修繕ボールのインクルージョンボールを 縫い直し、高校野球に係る経済的軽減と 福祉との連携で行っている。</p> <p>5～6月 春季高校野球大会後 10～11月 秋季</p>	<p><活動の様子></p>   <p>糸がほつれた野球ボール（練習用）の縫合作業を、高校野球部・大学野球部・社会人野球チームが加盟する北海道野球協議会から元氣ジョブを介して受注させて頂きました。球体で滑りやすいボールのほつれを縫い合わせるという細かい作業で「針」を使うためケガの無いよう細心の注意を払い行いました。蘇ったボールが再び練習用として使用されることを思うと遣り甲斐を感じます。</p>
<p><目的></p> <p>北海道の野球界が全体として取り組む社会貢献活動として、2019年から「インクルージョンボール」事業をスタートいたしました。「インクルージョンボール」は、糸がほつれて使用できないまま各学校及びチームに保管されている硬式野球ボールを回収し、元氣ジョブさん（札幌市委託事業）を通して障がい者施設で補修、そのボールを循環させて再利用する仕組みを北海道内に構築</p>	
<p><成果></p> <p>2019年から各回100～200球の修繕を行っている。毎年請け負う高校も違ったり汚れや破損も違う。 最初は慣れるまでは手先器用さ、力もないと縫製できない。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>NPO法人北海道野球協議会では、北海道の野球界が全体として取り組む社会貢献活動として、2019年から「インクルージョンボール」事業をスタートいたしました。「インクルージョンボール」は、糸がほつれて使用できないまま各学校及びチームに保管されている硬式野球ボールを回収し、元氣ジョブさん（札幌市委託事業）を通して障がい者施設で補修、そのボールを循環させて再利用する仕組みを北海道内に構築し、“障がい者就労支援”と“ボールのリサイクル”を両立する社会貢献及びスポーツ振興事業です。</p> <p>現在、札幌市内27ヶ所の障がい者施設参加し、ボールの修繕費が工賃として支払われるだけでなく、野球ボール及び野球というスポーツを媒介として、球児と障がい者の交流が生まれる事を期待しています。</p>			
連携先企業名	株式会社 北海道日本ハムファイターズ 管理統轄部 広報部 SCグループ	担当者名	福田 恵介
	北海道野球協議会	担当者名	